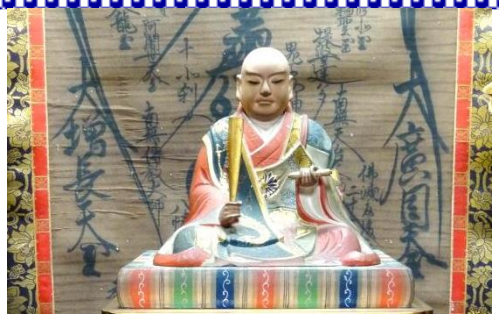
妙教寺だより

第 39 号
平成 27 年 8 月

一心合掌　但行礼拝



宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年
第三期 開花活動へ

妙教寺第七世　順信院日薫

暑中御見舞申し上げます。

盛夏の候、御檀家御信者の皆様におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

第三期・開花活動

さて、檀信徒の皆様より、護持会活動を通し、妙教寺の護持興隆の為や菩提寺の諸行事のご奉仕を拝し、特に、宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念事業などのご浄財ご喜捨を賜るなか、日蓮宗宗門では、平成十九年度より始まった「立正安国・お題目結縁運動」で、すでに第一期の合掌の「播種活動」（平成十九年度から二十二年度まで）、第二期の合掌の「育成活動」（平成二十三年度から二十六年度まで）が終了し、平成二十七年度から、「宗祖御降誕八〇〇年に向けた」、いよいよ第三期は、合掌の「開花活動」（平成三十年度まで）を迎え、但行礼拝活動の開花のために、お題目を唱えていただく布教方針を深化させ、伝えてくれる聖徒を育成し、「久遠のいのち」に合掌し、多くの「如来使」を涌現させる運動です。

よって、第三期・本年度からいよいよ宗門あげての「八〇〇年」の慶節に向けた実働の年となり、全国

いのちに合掌

夫れ懺悔（さんげ）は治病の妙薬。開運の秘法なり。若し難病を平癒（なお）し。悪運を除かんと欲せば。すべからく懺悔すべし。

因果のことわりは。厳正（げんせい）にして犯し難し。微罪も猶を悪報をまぬがれず。況んや不幸。不義。不正。不貞。不倫。背徳。忘恩の大罪に於いておや。積もりて難病の因（もと）となり。あつまりて厄災の縁となる。…

日蓮宗聖典懺悔文

五千ケ寺の日蓮宗寺院において宗祖の鴻恩に謝し、御遺徳をお慕いする報恩行として、「いのちに合掌」し各種の「慶讃記念事業」が展開計画奉行されています。

慶讃事業に合掌

また、當山の慶讃事業については、事業委員会より事業詳細は別紙にて報告いたしますが、これらの、六年後の聖日に向い、祖恩報謝の一端に擬せんと欲して、その「宗門慶讃勧募基金支援（六ヶ年分割納入）」「寺院慶讃勧募課金支援（六ヶ年分割納入）」「檀信徒慶讃勧募課金支援（六ヶ年分割納入）」や「宗門大法要（誕生寺において慶讃法要、身延山において結願法要）・祖山総登詣中期団参（福岡県宗務所主催）参加」などの支援や、當山の「第二期記念事業」では「慶讃記念事業並び慶讃法要奉行」や「境内・内外の補修工事」「本堂内陣・外陣の礼盤登高座仏具や三対の幢幡等の修復」などの「第二期事業」を推進し、檀信徒が一体となって掌を合わせて合掌し、宗門や菩提寺の発展を願い、異体同心して完遂に向かいたいと存じます。

また、先般、妙教寺たより三十八号でお知らせいたしましたように、妙教寺嘱託職員高野英典師は、宗祖日蓮大聖人御生誕八〇〇年慶讃記念の乙未歳の中期慶節を契機に、本年一月に、元寇園教会第六世の担任に就任されましたので、この度、宗門告示通牒で、去る、六月十八日に総本山身延山で挙行された「平成二十七年度第二回住職担任認証式」（住職担任認証式の詳細は別紙にて報告）の式典に元寇園教会総代二名が同行ご参加され、日蓮宗管長猊下より正式に元寇園教会担任に認証されましたことは、この上なくおめでたきことと思っております。ここに、ご報告いたすとともに、而今以後、元寇園教会の興隆に精進されんことを願うものであります。

護持護法のための、ご浄財喜捨のご寄進やご奉仕を賜りましたことに対し、衷心より厚く御礼申上げます。

懺悔（さんげ）は仏性開顕なり

さて、この度、日蓮宗宗門や妙教寺では、宗祖の御降誕八〇〇年記念事業推進運動のスローガンとして「いのちに合掌」を掲げている運動のなか、合掌礼が世の中に広く普及され、私たちの心の中に存在する「仏に成るための種」を育てるのを手助けするための行為で、合掌の心で生きる啓発運動で、その活動の標語（日蓮宗宗務院発行パンフ）の一つを紹介します。

本尊に合掌すれば信心となります。
仏性に合掌すれば懺悔となります。
父母に合掌すれば孝養となります。
年上に合掌すれば敬慕となります。
事物に合掌すれば慈愛となります。
自分に合掌すれば修養となります。
お互いに合掌すれば世界平和と幸福となります。

「日蓮聖人御降誕八百年標語」

立正安国・お題目結縁運動

いのちに合掌

お互いに備わっている仏性を拝み合い、合掌し合い、南無妙法蓮華経のお題目を唱えて、「いただきます」の合掌」「ありがとうの合掌」「あいさつの合掌」「感謝の合掌」「懺悔滅罪の合掌」など、合掌する習慣をつけることに力をいれて、日蓮宗の「但行礼拝」の精神で、合掌の意義を一人でも多くの人たちに伝えていく「一切衆生　悉有仏性」の心をもって「菩薩道を行じてゆく」布教運動です。

また、日蓮宗聖典の巻頭の「懺悔文」に教示されていることは、自らの罪を滅して、心から反省して我々の本来持っている仏さまの心即ち仏性に戻るという意味です。

「懺悔文」で、懺悔の合掌の心とは、霊界ならびに人間界にも、動物や自然界にもいのちがあり、姿かたちが異なる生きものであっても同じ命、尊い一つの命なのだと、そうした生きとし生けるもののいのちに、慈悲の心で手をあわせること法華経は教えます。

因果のことわりは、厳正（げんせい）にして犯し難し

説示文の如く、今の自分は、過去の出来事や我々がこの世に生を受けて以来現在に至るまで、悪縁良縁の人々の関りの中でおそ

らく罪を犯したことがないとゆう人はないでしょう。また、ことばをかえれば「過去の諸々が花開いている今、未来の諸々のつぼみが沢山詰まった今」と三世常住の三世即一と受けとめたときを見れば、現在の罪だけではなく、過去からの前世やご先祖からの罪も受継いでいるかもしれません。

また、人はよい行いをすればよい報いがあり、悪い行いをすれば悪い報いがあるということで、行為の善悪に応じて、その報いがあることを「因果果報の法」と教えています。

私たちは、宿業のみにあらず、果てしなき因果をたずねれば、過去の因果、現在の因果、未来の因果、即ち三世の連鎖の中で、今ここに生きていることは間違いない事実でしょう。

初心の祈りから

日蓮大聖人さまが、信じ極められた法華経「方便品」の教えのなかに、「過去の因を知らんと欲すれば、現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲すれば、現在の因を見よ」と垂示されていますので、大切なのは、現在の結果をどう受けとめるかです。

それが、恩寵されるものであれば、父母やご先祖様の賜物と合掌し、もしも不都合な好ましくないものであったならば、進んで自分自身の懺悔の心を起こして思いを定めることから祈りの起点とすることが大切です。

また、自らの「仏性」の誠の心が目覚め、自分の罪を懺悔することは、ただの反省するという口先ではなく、心も伴い、二度と繰り返さないと堅く誓い、ご本仏お釈迦さまの久遠の大本願を体し、その巨大な如来秘密神通の大本願力そのものである因行果徳の二法のお題目を唱え、自らの無始よりこのかた。無明の酒に酔いて造るところの罪業（大罪・小罪・微罪）を認め懺悔滅罪の修行を実行していくことから初心の祈りが始まるのです。

悪運を除かんと欲せば すべからく懺悔すべし

一分の宿福あって遭い難き妙法に遭いあえた、私

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の
(有)臼井組
建設業
〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9
TEL 092－932－7397

共がお唱えする「お題目」は、七百有余年の歳月を超えて、一切衆生をして、日蓮大聖人が身命をとして命がけで弘通なされた、全人類が等しく救われ、仏になれる道「お題目神秘」をお示し下さいました。

懺悔文の拝読運動

今後は、宗祖、御生誕八〇〇年にむけて、日蓮門家が目指すところの、次の世代へ「伝えるための、お題目布教の展開」を掲げ、私共聖徒が如法に受持宣布するということは、「仏にならせていただきます。仏さまのような道を歩ませていただきます。」と請願し、進んで自分自身の真正懺悔の心を起こして、信仰の根源に立ち返り、聖徒の皆さまが播かれました「仏種」は、かならずや素晴らしい花を咲かせ、実を結ぶことを願いながら、「懺悔文拝読運動」をおし進めて、真のお題目を唱えて信行に励みたいと思います。

また、當山のお題目修行者である聖徒の方々こそ、真の弘通者として、信者の本分を尽くすこと、宗祖の御本願を相続するための、その「お題目の輪」を弘め、尊い合掌の心を身近なところから、小さな輪がやがて大きく広がっていくことを願い、衆生誘引のつとめを果たしたいと存じます。

お題目は成仏の直道也

これからは、私共聖徒が一丸となって未信徒に「お題目」を伝える事が、私たち信者が願う「お題目」の道を「持ち」「行い」「護り」「弘め」奉らんと、誓いを新たにすることこそ、「上求菩提　下化衆生」、つまり「上に菩提（さとり）を求め、下には衆生を化する（教え導く）ことこそ、弘通者の本来の面目であると考えます。

さらに、日頃「お題目の信行」で体験体感された、ご修行の功徳をもって、今後は、朝夕のお勤めの折にご家族揃って「懺悔文」（末尾に記載）を拝読され、宗祖がお示し頂いた「お題目の神秘」を語り、伝え、弘めながら、無始の惑業を滅し「懺悔滅罪の念を生し」日々の信行生活に精進され、特に、各々が菩提寺の興隆発展と教線拡張の為に、日蓮宗の信者としての本分を果たされますことをご祈念申しあげます。

参考文献
①日蓮宗宗務院発行・「宗報三二六号抜粋」
②日蓮宗霊断師会発行・「日蓮宗聖典」
③伊藤瑞叡著・「法華経の真実と救済」

日貫上人十三回忌法要

最後に、来る十一月十五日(日)、當山では月例お施餓鬼供養会並びに、當山第五世順忠院日貫上人英忠霊覚位の第十三回忌報恩法要の儀を奉行いたしますので、皆様と共に、積善の功徳を送り報恩のまことをささげたいと存じます。

南無妙法蓮華経

現住　日薫拝

懺悔文

夫れ懺悔（さんげ）は治病の妙薬。開運の秘法なり。若し難病を平癒（なお）し。悪運を除かんと欲せば。すべからく懺悔すべし。

因果のことわりは。厳正（げんせい）にして犯し難し。微罪も猶を悪報をまぬがれず。況んや不幸。不義。不正。不貞。不倫。背徳。忘恩の大罪に於いておや。積もりて難病の因（もと）となり。あつまりて厄災の縁となる。

倩（つらつ）ら推（おも）うに。われ等（ら）無始よりこのかた。無明の酒に酔いて。造るところの罪業。無量無辺なり。あるいは子となりて親を嘆かしめ。或いは弟子となりて師をば軽んじ。或いは従者（しもべ）となりて主に背き。或いは夫となりて妻を虐（しいた）げ。或いは妻となりて夫を尅（こく）し。或いは姑（しゅうとめ）となりて嫁を憎み。或いは嫁となりて姑の逆（さか）らい。或いは兄弟姉妹牆（かき）にせめぎ。或いは恩を怨にて報（かえ）し。或いは他人（たにん）の不利を計り。或いは約束を守らず。或いは悪口。両舌。妄語。綺語をもてあそび。或いは邪淫を行い。或いは乱暴を働き。或いは殺生し。或いは偸盗（ぬすみ）をなし。或いは強情にして他（ひと）と和せず。或いは冷酷にして他を愛せず。或いは憍慢（きょうまん）にして他（ひと）を蔑（ないがしろ）にし。或いは執念深くして他を怨（あだ）み。或いは非道にして他（ひと）を苦しめ。或いは強欲（ごうよく）にして物を惜（お）しむなど。斯（か）くの如き悪業を集めて。己（おのれ）の骨となし肉となす。いかでか悪報をまぬがれんや。これまた宿業のみにあらず。今世（このよ）に於いて更に罪を造れるに於いておや。

夫れ黒衣（くろきころも）を纏（まと）える者は。襟（えり）の裏の垢穢（あか）を覚（さと）らず。白衣（しろきころも）（お）を纏える者は。わずかな不浄をも畏（おそ）る。幸いなるかな。われら一分の宿福あっ

拝む心で尊い品を
梅谷佛具店
仏壇・仏具・寺院用具寺院納骨堂設計施工

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092) 271-0456・FAX (092) 271-0464
工場 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092) 806-7499・FAX (092) 807-1079
◆ E-mail umetani@umetani-jp.com ◆ HP http://www.umetani-jp.com

て。遭い難き妙法に遭いたてまつり。法界の霊主（みおや）。寿量仏の御前（みまえ）に膝まづきて。深く懺悔滅罪の念（こころ）を生（おこ）すことを得たり。

経に曰く。一切の業障海は皆な妄想より生ず。若し懺悔せんと欲せば。端座して実相を思へ。衆罪は霜露の如し。慧日よく消除すと。仰ぎ願わくば。唱えたてまつる南無妙法蓮華経の慧日。諸法実相の霊光を放（はな）ちて。われら無始の惑業を滅し。速やかに病苦を救い。定業を転じて。現世安穏の大利益を授け給わんことを。至心に懺悔し。一心に悃祷（こんとう）したてまつる。

今身より
仏身にいたるまで、
よくたもちたてまつる

南無妙法蓮華経
南無妙法蓮華経
南無妙法蓮華経

お知らせ

※ 毎月第一日曜日・午前十時に開催されています「祈祷祭」において、皆様と共に「懺悔文」を唱和し拝読のご修行できます。

※ どなたでもご自由ご参加できます。

※ 「日蓮宗聖典」の懺悔文のお経本は、千円で授与いたします。

異体同心

護持会会長・筆頭総代
古賀　静枝

合掌、例年になく長かった梅雨もやっと明け、厳しい夏の季節となりました。檀信徒の皆様には益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

寒修行に参加する古賀筆頭総代

うっとおしい梅雨ですが、梅雨があればこそ暑い夏が乗り越えられるのではないでしょうか。

私達、人間も動物や草木にとっても水無しでは生きていけません。まさしく命の水と言えるでしょう。そう考えると、うっとおしい梅雨にも感謝の合掌です。先日、お寺の御施餓鬼会に参加させて頂いた折、お斎を頂いていると普段あまりお話ししたことが無い方と話す機会がありました。

話す内容は初めはたわいのないものですが、後に信仰の話へと変わり、最後はお題目の素晴らしさやお祖師様への感謝の気持ちへと話が進みます。このお寺という場所を通して信仰の仲間と心を通わせていると、幸せな気持ちになり、いつの間にか合掌を

していました。ここから信仰的な異体同心の第一歩が始まるのではないかと感じ、本当に有難く思います。

今年一月には長年妙教寺の執事をしておられた英典上人が、妙教寺別院である東区志賀島の「元寇園教会」の担任に就任され、又、當山御住職上人より亡き日貫上人に代わり英典上人へ「順應院日典」の法号が授与されました。おめでとうございます。御師僧であられた亡き日貫上人もさぞお喜びのことと思います。今後はくれぐれも御身体を大切にされ、さらなるご活躍をご期待申し上げます。

本年十一月十五日（日）は月施餓鬼に合わせ當山第五世「順忠院日貫上人」の第十三回忌法要が執り行われる予定です。ご生前の御遺徳を偲び、感謝の気持ちで檀信徒の皆様と共に御報恩法要に参加させて頂きたいと思います。

最後になりましたが、これからしばらくは暑い日が続きますが皆様も御身体には十分お気を付けられますよう。又、今後とも妙教寺並びに別院元寇園教会発展の為、皆で力を合わせ「異体同心」で頑張って参りましょう。よろしくお願い申し上げます。

南無妙法蓮華経

就任ご挨拶

婦人会会長 植村（うえむら） 徳（めぐみ）

この度、婦人会会長のご指名を頂きました折、私がとっさに思った事は、自分の身の回りの事も右往左往と整理できぬ自分自身にそのような大役は出来ないだろうとお断りする事でした。

しかし、そんな中、筆頭総代の古賀静枝様をはじめ旧役員の方々から「大丈夫よ。お手伝い出来る事はいつでも言って。いつでも手伝いますよ。みんなで協力し合っていきましょう。」との言葉でした。古賀様をはじめ皆様の温かいご厚意に感謝をし、今までの不安や迷いが消える思いで大切な菩薩行の実践を忘れていた自分を恥ずかしく思い返しました。

これから先、信仰の輪が多くの方々によってより大きくなり、妙教寺の発展につながりますよう、何卒皆様のご協力をよろしくお願い致します。お気づきの点がありましたらどのような事でもお聞かせください。お待ちしております。

檀信徒の皆様の健康を祈念し、ご挨拶とさせて頂きます。

南無妙法蓮華経

投稿欄

元寇園教会担任・高野英典上人「住職・担任認証式」に参加して

妙教寺総代
元寇園教会総代　松尾　勝次

合掌

〝暑中お見舞い申し上げます〟

日頃より護持会の活動にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る六月十八・十九日、日蓮宗総本山 身延山久遠寺に於いて開催された「住職・担任認証式」へ、今回元寇園教会担任に就任された高野英典上人に帯同し、元寇園教会総代として、私と臼井義光様とともに参加させて頂きました。

一日目は身延山研修道場にて受付を済ませ、英典上人は研修道場へ、私達は祖廟常唱殿にてそれぞれに講習を受け、総代の私達は「檀信徒信行の手引き」をもとに檀信徒並びに寺院総代としての心得と唱題行のしかたなどの講習を受け初日の予定を終了し宿坊に戻りました。

二日目は早朝五時二十分に身延山久遠寺大本堂に集合、五時三十分に参加のお上人方と共に祖山朝勤に参列し、七時より、祖師堂に於いて日蓮宗管長であられ身延山久遠寺法主内野日総猊下ご臨席のもと、認証式が厳かに執り行われました。式典では、勤行の後、報告文が拝読され、続いて代表のお上人様による宣誓、御杯の義が行われ、管長猊下の訓諭、最後に宗務院代表のお上人様のご挨拶と祝辞があり、玄題三唱で閉式となりました。

大本堂前にて英典上人を囲んで
記念撮影（筆者右端）

このような荘厳な式典に参列させていただくご縁をいただき、妙教寺御住職上人をはじめ、英典上人に心より感謝申し上げます。

今回、一生に一度関わる事が出来るかどうかわからない儀式に参列させて頂き、大変貴重な体験となりました。この体験を踏まえ、革めて日蓮宗宗徒としての自覚と、両山の総代役員としての責任を深く感じ得る事が出来ました。これからは今まで以上に檀信徒の皆様と共に當山妙教寺本院同様、別院 元寇園教会を微力ながら支えていきたいと思います。

高野英典上人、元寇園教会担任ご就任おめでとうございます。

南無妙法蓮華経

平成二十七年一月十二日 新年福引大会 「住職上人賞」に当選して

大野城市南ヶ丘地区
大内　満子

日々に心安らかに過ごすことが出来るのも御上人様のお導きと檀信徒の皆様のお力添えによるものと存じます。心から御礼を申し上げます。

昨年は夫と二人でお詣りをさせて頂きましたが、今年は娘や孫と揃って新年のお参りが出来ました。年頭の御施餓鬼供養会でお祖師様に「正しい道を進むことが出来ますように」お祈りを申し上げました。その後に行われました福引き大会で、妙教寺様より「住職上人賞」を頂戴いたしました。

當山住職上人と賞品の自転車と一緒に記念撮影

この賞は夫が望んでいた賞品で、また夫が頂いた品は私がいつも欲しい欲しいと思っていた蘭のお花でございました。よろこびは重なりまして心から感謝申し上げます。

今年も檀信徒の皆様にとりまして、幸多きよいお年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

南無妙法蓮華経

西筑組主催・第44回 海上施餓鬼大法要並びにお題目の集い奉行

妙教寺修徒　**松尾　英勝**

本年は、福岡県宗務所長に西筑組より初めて宗像市妙経寺御山主　髙嵜泰道僧正様がご就任され来賓としてご臨席されました。又、「海上施餓鬼大法要」並びに「お題目の集い」も、主催代表であられる、副長が朝倉市圓誠寺御住職・平石前勝上人に変わられ、新体制によってとり行われました。

今回は、門中各御寺院より約三百名ほどの檀信徒の皆様が参加され、法要に先立ち、開式の辞を今年一月より妙教寺別院・元寇園教会担任であられる髙野英典上人が勤められました。

法要は、朝倉市・本覚寺松木祥覚上人を導師に朝倉地区の各上人の出仕により厳粛に営なまれました。

昼食をはさみ、糟屋郡蓮照寺御住職竹内曜良上人お導師により唱題行が行われた。

海上施餓鬼大法要の様子

講演は、今年度より福岡県布教師会会長に就任された那珂川町・蓮教寺御住職大坪正志上人より「ほとけの子」と題しましてお話がありました。「私達は、沢山の人や物等によって支えられている事を感謝し合掌しましょう。」と、大変わかりやすくお話されていました。

日蓮大聖人のおことば ⑮

崇峻天皇御書

蔵の財よりも
身の財すぐれたり
身の財より
心の財第一なり

「建治三年　聖寿五十六歳」
（四条金吾殿宛）

竜の口の処刑場に護送される途中、駆け付け、共に殉死する覚悟でくつわに取りすがる四条金吾頼基公

朝夕のお勤めの最後に「受持」（今身より、仏身に至るまでよく持ち奉る）をお唱えします。

これは私達が信仰する上で大事な行いで、仏様への誓いです。つまり私達は今から仏様のの世界に近づくよう日々努力精進していく心を持ち続けるという誓いです。しかしながら一代限りの信仰ではいつか絶えてしまいます。近年、各寺院に於いても檀信徒の寺へのお参りが減ってきていると聞きます。その原因には、時代背景の変化や核家族化、高年齢化等の問題もさることながら、信仰面での伝承がうまくなされてこなかったところにあると考えられます。毎月は無理でも、お正月やお盆、お彼岸等の節目節目には子供さんやお孫さんと一緒にお寺参りをし、寺の行事に参加することで若い方にもお寺を身近に感じて頂く事ができ、初めは何もわからなくて真似をしてやっているうちに「以心伝心」で自然と心が変化して自分のものとなっていくのではないでしょうか。これはお寺という法華経の道場に近付く事によって自然と心の中に

お題目の種が蒔かれやがて芽を吹き大きな木に育ち、ゆるぎない信仰心へと繋がっていくのです。

ここに掲げた「崇峻天皇御書」は当時大変熱心な法華経信者であられた武将、四条金吾殿に対し、日蓮聖人が出されたお手紙で、どんなに苦境に立たされても忍耐強く賢明な行動をし、決して短気を起こさないように崇峻天皇の物語を挙げて戒められたものです。私達が社会で生きていく上で物品や金銭は欠かせないものです。身体の健康はそれ以上に大切ですが、最も貴重なものは「心」です。社会生活を営む根本は物質より心にあり、心の財とは、真実の仏道を歩む道心にあります。そこに清くおおらかな心持ちが生まれ、豊かさがあるのです。私達が真の豊かさを持ち平安な心で暮らすことが一番の幸せといえます。

参考文献
日蓮宗宗務院伝道部・
「日蓮宗テレホン説教法話集」

元寇園教会より

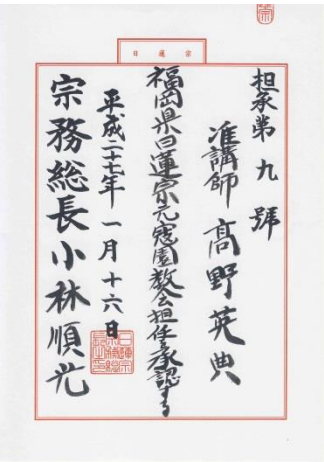
担任
高野英典

合掌

〝暑中お見舞い申し上げます〟

日頃より、妙教寺並に元寇園教会の檀信徒の皆様には護法護持の為、ご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

早いもので、元寇園教会の担任を仰せつかって八ヶ月となりました。六月には、就任手続きの最後として、日蓮宗総本山　身延山に於いて行われる「住職・担任認証式」に出席させて頂きました。住職担任になる為には様々な手続きがあり、各種の書類提出をして、許可がおりると日蓮宗宗務総長より担任の承認を受けます。



日蓮宗宗務総長より頂いた承認証

そして最後に総代一名以上を伴って身延山での各種講習会に参加した後、日蓮宗管長猊下より認証を受けなければなりません。

日蓮宗管長猊下より頂いた認証書

今度は元寇園教会総代として臼井義光様、松尾勝次様にご同行頂きました。前日よりの雨で心配しておりましたが認証式当日はどうにか天候も回復し、本山大本堂での朝勤の後、隣の祖師堂に於いて身延山法主でもあられる日蓮宗管長「内野日総猊下」、宗務院代表として総務部長「風間隨修僧正」ご臨席

のもと「住職・担任認証式」が厳粛に執り行われました。今回は全国各地より二十名の参加でした。

平成27年度 第二回住職担任認証式記念　平成27年6月19日

認証式を無事終え、改めて一教会の担任となった重責を深く感じるものでした。今後は一層、元寇園教会の設立の本来の目的でもある元寇の役彼我両軍の殉難者の精霊をはじめ各戦役で犠牲となられた方々、又、近年世界各地で起きている自然大災害等で図らずも命を亡くされた全ての精霊に供養の誠を捧げ、世界の平和と幸福と繁栄を祈願し、この供養霊場の尚一層の充実と発展に努めてまいる所存です。

妙教寺並に元寇園教会の檀信徒の皆様方には今まで同様、ご理解とご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

再拝

お知らせ

元寇園教会では、毎月十七日と二十三日に施餓鬼会を行っております。また、不定期にご有志の方により素人農園ですが季節の野菜や草花等を育てながら菩薩行を行っております。ご興味のある方はお気軽にお声をかけてください。行く日程を打合せした上で車にて送迎いたします。

盂蘭盆と施餓鬼について

妙教寺修徒　髙野　英一

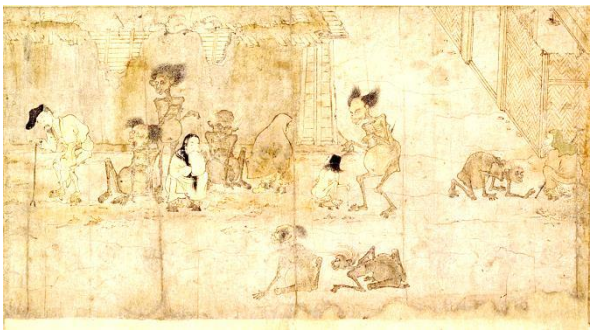
今回は、お盆とお施餓鬼についてお話をしたいと思います。

檀信徒の皆様がこの話を目にしている頃は、ちょうどお盆のまっただ中かと思いますが、お盆は正月と並び、日本の年中行事の中でも非常に深く浸透している行事の一つといえます。

この「盆」という呼び名は「盂蘭盆」の略であり、かつてインドで使われていたサンスクリット語の「ウランバナ（逆さ吊りにされるような苦しみ）」に漢字を当てたものです。この時期には、父母をはじめご先祖様の霊を供養し、このような苦しみから救うという意味で、全国各地で盂蘭盆会・施餓鬼供養会が執り行われています。

また、盂蘭盆会の由来として有名なものに『盂蘭盆経』に説かれた目連尊者のお話があります。

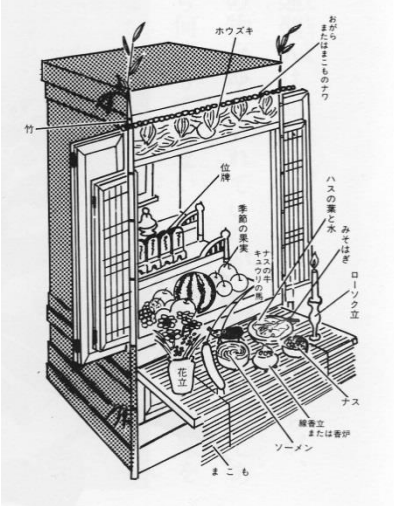
お釈迦様の弟子で神通第一と評された目連尊者が、亡くなった母親を神通力で捜し、母が餓鬼道に落ちたのを知ります。餓鬼道は常に餓えに苦しむ場所であり、見かねた目連は餓えた母親に神通力で水や食べ物を届けましたが、母がそれに口をつけようとすると火に変わり口にすることが出来ませんでした。困った目連はお釈迦様に助けを求めます。するとお釈迦様は「お前の母の罪はとても重く、一人ではどうしようもない。多くの僧が九十日間の雨季の修行を終える七月十五日に、ご馳走を用意して経を読誦し、心から供養しなさい。」と述べ、目連が早速その通りにすると、目連の母親は餓鬼の苦しみから救われたといわれています。



餓鬼道の様子を現した図
（ヤフー・ジャパンより）

日蓮大聖人もご自身が記された『盂蘭盆御書』の中でこの逸話にふれ、さらに目連尊者が母を救えなかったのはこれまで修行に用いてきた小乗の戒律では力不足であったためとして、『妙法蓮華経』の中において目連尊者がそれらを捨て「南無妙法蓮華経」と唱えられたことによって仏となり、目連尊者と血のつながった両親も共に仏となったのだと説明されています。

さらに大聖人は「目連尊者が法華経を信じまいらせし大善は、我が身仏になるのみならず、父母仏になり給う。上七代下七代、上無量生下無量生の父母等存外に仏となり給。乃至子息・夫妻・所従・檀那・無量衆生三悪道をはなるるのみならず、皆初住・妙覚の仏となりぬ。故に法華経第三に云く、願以此功徳普及於一切我等与衆生皆共成仏道云云。」と述べ、法華経の功徳は本人のみならず父母やはるか前の先祖、はるか先の子孫、その他の家族や関係者までも救いをもたらし、成仏させるほど大きなものであると説明されています。この一節は日蓮宗のお寺の盂蘭盆会においては必ずと言っていいほど読まれるものです。



仏壇による盆飾りの一例

毎年、お盆の棚経参りという形で檀信徒各家にお参りをさせて頂いておりますが、その際には皆様のご先祖様により多くの法華経の功徳が届きますよう、家族みんなで共に祈りを捧げて頂ければと思います。

西筑組主催海上施餓鬼会に
参加した髙野上人

南無妙法蓮華経

参考文献
開山堂出版
「日蓮聖人と盂蘭盆会」

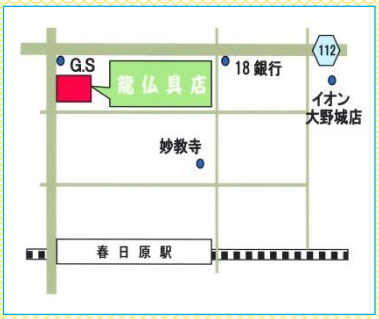
(有)広栄堂龍仏具店

各種仏壇・仏具お取り寄せ出来ます。ご気軽にご来店下さい。

福岡県大野城市錦町 2-2-3

TEL FAX 092-582-7676

定休日/毎月　5・15日



お上人さん教えて！

日蓮宗ポータルサイトより

Q 合掌には、どんな意味があるのですか。

A 手のひらを隙間なく合わせることを合掌といいます。（図①）両手を合わせてほかに何もできないことを示し、一心に祈る礼拝の姿なのです。インドでは、右手は清浄（神聖）、左手は不浄（私達）を表します。この二つの心が合わさることによって、仏さまと私たちが一つになれるといわれています。

図①

Q 具体的には、「ご本尊」とは何を指すのでしょうか。

A 日蓮宗の本尊は、日蓮聖人が世界で初めて紙の上に文字で書き表された「大曼荼羅（だいまんだら）」を指します。（図②）日蓮聖人は、「日蓮がたましひ（魂）をすみ（墨）に染めながしてかきそうろうぞ」（経王殿御返事）とお述べになっています。つまり、日蓮聖人が魂を込めてこの世の姿を書き表されたものが日蓮宗の本尊なのです。

図②

カワイイひよ子型のおかき「カレーおかき」新登場

カレーおかき
ひよおかき
6袋：680円
（本体630円）
10袋：1,134円
（本体1,050円）

九州限定
ひよ子の恋
種子島産「安納芋」使用

※檀信徒様のお買い上げは、当店に限り　10%引きとさせていただきますので、
ご気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

地方発送承ります

名菓ひよ子
イオン大野城店

大野城市錦町4丁目1-1　イオン大野城1階
TEL・FAX　092－592－2126

行事スナップあれこれ

1/12　新春星祭り大祭・福引き大会
本年も大勢のお参りがあり、盛大に行われました。

1 月元旦　新春初参詣祝祷会
厳粛な法要の中、御経頂戴式が行われ、この後甘酒が供養されました。

2/1　節分追儺会
除厄退散・息災延命等を願い
本年厄年の方・干支の方々により豆まきが行われた。

1/18　婦人会主催寒修行
一心にお題目を唱える檀信徒の方々。

6/11　元寇園教会恒例芋苗植え
婦人会役員並びに有志の方により収穫を願って植えました

5/24　平成 27 年檀信徒総会
全ての議案に対し、満場一致で承認されました。

4/12　釈尊降誕会（花まつり）
婦人会役員並びに有志の方により綺麗な花御堂が作られ、御宝前へお供えされました。

7/10　西筑組主催による第 44 回
海上施餓鬼法要が執り行われ、
當山より 17 名参加されました

7/19　土用の丑大祈祷会
頭痛封じ、無病息災を祈念してほうろく灸を受けられた檀信徒の方々。

7/5　信行会　写経修行
今回は、懺悔文の写経を行いました。

お寺の行事

◎9月6日(第1日曜)
・月例祈祷祭
午前10時より

◎9月20～26日(日～土)
・秋季彼岸棚経廻り
早朝より

◎9月27日(第4日曜)
・各家勧請守護神祭
・秋季彼岸施餓鬼供養会
午後1時より

◎10月4日(第1日曜)
・月例祈祷祭
午前10時より

◎10月11日(第2日曜)
・宗祖お会式桜花つくり
午前9時より

◎10月18日(第3日曜)
・宗祖日蓮大聖人お会式
・月施餓鬼供養会
午後1時より

◎11月1日(第1日曜)
・月祈祷祭
午前10時より

◎11月15日(第3日曜)
・順忠院日貫上人
第13回忌法要
・月施餓鬼供養会
午後1時より

◎12月6日(第1日曜)
・月祈祷祭
午前10時より
・三沢清正公堂大掃除
午後より

◎12月13日(第2日曜)
・年末煤払い大掃除
午前9時より

◎12月20日(第3日曜)
・年末総供養施餓鬼会
午後1時より

◎12月27日(第4日曜)
・正月お供えの為の餅つき
午前8時より

◎12月28～30日(月～水)
・正月飾付け準備

◎1月1日(金)
・初参詣祝禱会
午前1時より

◎1月1日～3日(金～日)
・新春三ヶ日一部経読誦会
午前8時より

◎1月11日(成人の日)
・各家勧請守護神祭
・年頭施餓鬼供養会
・開運星祭り
・新春福引き大会
午後1時より

◎1月17日(第3日曜)
・寒修行会(婦人会主催)
午前10時より

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月 第1日曜日は
・信行会 (12時より)
(1月・8月は諸行事の為休みます)
・12月の信行会は特別講演となります
・三沢清正公堂お参り
(午後より)

発行所 非売品
大野城市錦町二丁目一番二七号
春日山 妙教寺
〇九二(五八一)一二六六

≪御霊屋・納骨堂 加入者募集≫
○近代的格調高い
○耐久性にすぐれる
○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。
※詳しくは、當山ホームページにてご確認下さい。お寺又は護持会事務局まで、お問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092－581－1266